

国際青年会議所



日本青年会議所

東海地区協議会
ブロック協議会

各地青年会議所

三信条

J C 宣言

綱 領

トレーニング
(修練)

フレンドシップ
(友情)

サービス
(奉仕)

青年会議所は 三信条
「奉仕」「修練」「友情」を活動
の基本におき、
「明るい豊かな社会を築き上げる」
ことを理念としています。
また、会員相互の啓発・交流をは
かり、自己を鍛え、地域との協働
により社会の発展に貢献するこ
を目的としています。

富士青年会議所趣意書

青年の真価は其の清純な直観力と汚濁なき批判力と果敢なる行動力にある。意欲的な熱情を持つ青年達が互に手を合う事は現在の社会情勢に於いて極めて重大な意義をもつものである。何故ならば次の世代における社会は我々青年達の双肩にかゝっているからである。我々富士市の青年達は兼々其の横の連絡をとり各々の修養を通し何等かの形で社会に貢献しようと考えサークルを造りつゝあつたが日本J Cは其の趣旨・其の活動方法・其の業績が我々の望むものとまったく一致しているので全員一致をもつて会員たらんと希望しこゝに入会申込をする次第である。

(1958年)

まちづくり

日本各地に約700の青年会議所があり
約40,000人のメンバーが共に活動しています

青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていけます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。(日本青年会議所HPより)

自己トレーニング

(社)日本青年会議所の行った代表的なプログラム

「もったいない運動」

「もったいない」とは、「ありがたい」という過大なものに対する「感謝する心」、恐れ多いという「謙虚な心」、惜しいという「物や時間の浪費を惜しむ心」であると記されている。その上で、1) 地球環境にやさしい、2) 持続可能な、3) 社会通念において道徳的に賛同される「物」や「考え方」をライフスタイルに取り入れて、身の回りのひとつひとつを改善することにより、現在の公害問題や自然破壊など様々な問題を解決していくことを目的としている。

社団法人日本青年会議所発「もったいない」運動は、1994年から1999年まで国際青年会議所の公認プログラムとして採用され「グローバルMOTTAINAIムーブメント」としてJCIの海外拠点がある各国で展開された。

そして現在、日本で生まれた言葉が世界語「MOTTAINAI」として認められている。

青少年の育成

国際交流

地域への奉仕